



9月号

さやまだい

公民館・地区センターだより

平成30年
2018年9月



まーくん

さやちゃん



岡村実行委員長の開会宣言

7月21日(土)は猛暑続きの中、第15回「狭山台ふるさと祭り」が開催されました▼小谷野市長は「今日は夏休みの初日、思い出に残る1日にして欲しい。また入口に設けてある「西日本豪雨災害の募金活動」にも取り組まれて嬉しい。皆さんも是非、心を寄せて頂きたい」との挨拶がありました▼岡村実行委員長は開会前のインタビューで「各自治会総会が終わってから2ヶ月の準備は短い。年々高齢化も進み、人材不足は深刻で知恵の出どころです。でも子供たちの楽しんでいる顔を見ていると励みになります。また新しく出演申し出がありました“歌謡コーラス&楽器演奏”は中盤を盛り上げてくれるでしょう」とのコメントがありました▼「狭山台ふるさと祭り」は、毎年参加者が大変多くなっています。よって各自治会テントの模擬店には、大勢の購入者や、ゲームを楽しむ子供たちが、楽しそうに、また行儀良く並んで待つ姿は、まさに日本文化です。



狭山台ふるさと祭りの全体光景



自治会・子供会と娘神輿の練り歩き



ヨーヨー釣れた!



「本気であそぶ子供応援団」の焼きそば

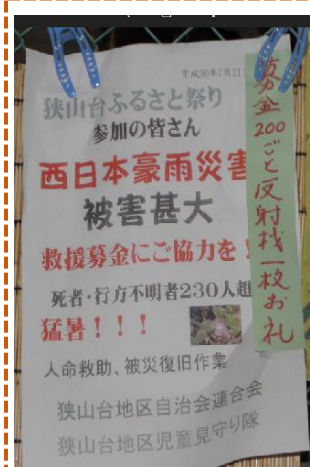
猛暑のなか調理が大変でしたが、凄い人気で600食が19時に完売しました。



「AZABU 宮寺 or 悶動夢踊」のメンバー

今年初めて出演した【AZABU 宮寺 or 悶動夢踊 (もんどうむよう)】4名の綺麗なハーモニー、歌謡コーラス&楽器演奏に魅せられ、盆踊りのやぐら前が人だかりになりました。

(葛西&村上記者)



「平成30年7月豪雨災害義援金」へのご協力ありがとうございました。

ふるさと祭り本部席前の義援金箱によせられました「平成30年7月豪雨災害義援金」は、38,142円でした。全額、埼玉県赤い羽根共同募金会狭山支部(事務局 狭山市社会福祉協議会)を通じて被災地に送られます。

募金者には、お祭り当日に自転車や腕に着ける交通安全の反射ベルトのプレゼントがありました。